【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和6年12月11日(2024.12.11)

【国際公開番号】WO2023/189225
【出願番号】特願2024-511572(P2024-511572)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｍ 25/06(2006.01)
Ａ６１Ｍ 25/09(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｍ 25/06 ５００
Ａ６１Ｍ 25/09

【手続補正書】
【提出日】令和6年7月24日(2024.7.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
中空のカテーテルシャフトを有するカテーテル部材と、前記カテーテルシャフトの内腔に挿通された中空の針体を有する針部材と、前記針体の内腔に挿通されたガイドワイヤーとを備え、前記針体の先端部の刃面には、前記針体の前記内腔に連通する先端開口が形成されているカテーテル組立体であって、
前記ガイドワイヤーの先端部には、近赤外光を発する発光部が設けられ、
前記発光部は、初期状態において、前記針体の軸線と直交する方向から前記刃面を見た平面視で、前記先端開口に重なるように位置する、カテーテル組立体。
【請求項２】
請求項１記載のカテーテル組立体であって、
前記針部材は、前記針体の基端部に設けられた針ハブを有し、
前記カテーテル組立体は、前記初期状態で、前記ガイドワイヤーの前記針体に対する基端方向への移動を規制する移動規制部を備える、カテーテル組立体。
【請求項３】
請求項１記載のカテーテル組立体であって、
前記先端開口は、前記針体の軸線方向の中心部に位置する開口中心部を含み、
前記発光部は、前記初期状態において、前記開口中心部よりも基端方向に位置する、カテーテル組立体。
【請求項４】
請求項３記載のカテーテル組立体であって、
前記先端開口は、前記針体の前記軸線方向の基端部に位置する開口基端部を含み、
前記発光部は、前記初期状態において、前記平面視で、前記開口基端部と重なるように位置する、カテーテル組立体。
【請求項５】
請求項１記載のカテーテル組立体であって、
前記発光部は、光が照射されることにより前記近赤外光を発する蛍光材料を含む、カテーテル組立体。
【請求項６】
請求項１～５のいずれか１項に記載のカテーテル組立体と、

生体部位に穿刺された前記カテーテル組立体の先端部に近赤外領域の光を照射する照射部と、

前記光のうち前記生体部位及び前記カテーテル組立体で反射された反射光と前記発光部が発した前記近赤外光とを受光して受光画像を作成する受光部と、

前記受光画像を表示する画像表示部と、を備える血管穿刺システム。